

# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

# 新聞

1月1日 金曜日

2021年(令和3年)



日本熱源システム社長

原田 克彦氏

①自然冷媒として二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)やアンモニアを用いる冷凍冷蔵倉庫や食品冷凍機を製造している社、化学会社は環境とが、2020年は従来省エネルギー両面の優位にスリッド感をもった主流だった  
冷媒フロンガスR22の  
**CO<sub>2</sub>冷凍機用途開拓**  
提供でき  
る点がポイントにな

秀さを評価し、自然冷媒冷凍機への転換を進めてくれている。2021年は期待に応え成長の年としたい。

②CO<sub>2</sub>冷媒冷凍機 (東京都新宿区)



ウィズコロナ下では感染拡大防止と経済活動の両立が求められている

2021年に入っても、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しはまだ立たず、産業界では感染拡大防止と経済活動の両立が求められている。米国では1月20日に新大統領が誕生し、バイデン政権下での対中政策が注目される。また、7月に延期になった東京五輪・パラリンピックは不安と期待を抱えたまま、開催準備が進む。先行き不透明感が強まる中、ウィズコロナ下での21年の景気見通しや勝ち残るための経営戦略などについて、中堅・中小企業の経営者に聞く。(2回連載)

## 質問項目

- ①2021年はどんな年になるのか
- ②2021年はどんな手を打つか
- ③中堅・中小企業が勝ち残るためのポイントは何か